

井原議員（広志会）

令和6年2月20日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）不登校対策について

不登校対策について、どう改善されたのか、教育長の見解を伺う。

（答）

本県の不登校児童生徒数は、全国と同様に、全体として増加傾向にあり、重要な課題であると認識しております。

不登校の要因は、一人一人によって様々であることから、不登校児童生徒が社会とつながり、学んでいける環境を整備するとともに、個々の児童生徒にどのような成長が見られたのかを把握し、社会的自立に向けて支援していく必要があると考えております。

これまで、スペシャルサポートルームや「School "S"」などを利用した児童生徒には、例えば、「自分のペースで学習できる」「自分の意思を尊重してもらえる」など教室以外の安心な居場所で自己を発揮し、成長している姿が見られております。

また、本人が希望する高等学校に進学して、新たな環境で前向きに取り組む、他者に自分の体験を語る姿が見られたりするとともに、保護者からも、家庭以外の子供の居場所ができてありがたかった、といった思いを聞いているところがございます。

県教育委員会といたしましては、引き続き、現在の取組を更に充実させるとともに、市町教育支援センター、これは以前は適応指導教室と呼ばれておりましたけれども、こちらと連携を深め、不登校等児童生徒への支援を強化してまいります。